

日興BRICS株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第13期(決算日2018年4月16日)

作成対象期間(2017年4月18日～2018年4月16日)

第13期末(2018年4月16日)

基準価額	13,635円
純資産総額	9,831百万円
第13期	
騰落率	15.8%
分配金(税込み)合計	100円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「日興BRICS株式ファンド」は、2018年4月16日に第13期の決算を行ないました。

当ファンドは、BRICS諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国)のそれぞれの国の株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

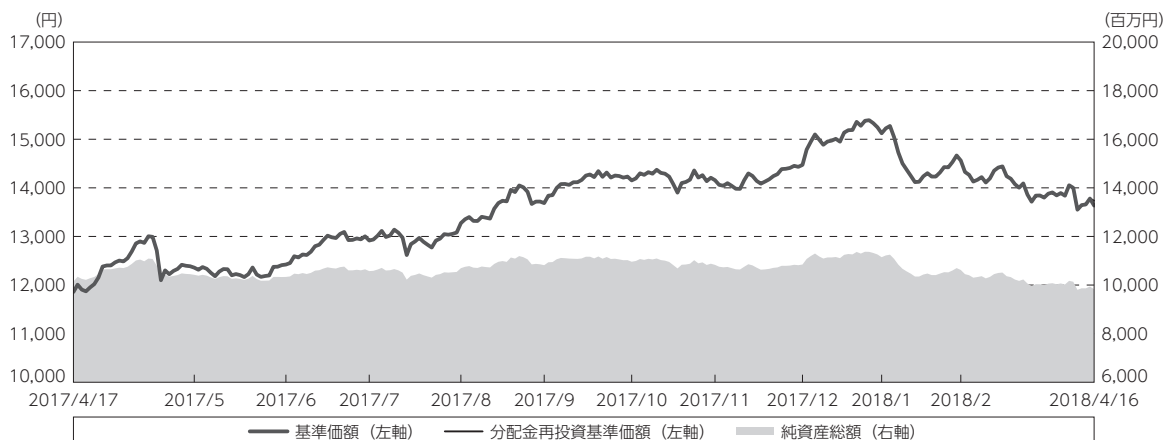
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2017年4月18日～2018年4月16日)



期 首：11,858円

期 末：13,635円 (既払分配金(税込み)：100円)

騰落率：15.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2017年4月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、B R I C s 諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国)のそれぞれの国の株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。各国への投資にあたっては、ブラジルは「ブラジル株式マザーファンド」、ロシアは「ロシア株式マザーファンド」、インドは「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」、中国は「チャイナランド株式ファンド(適格機関投資家向け)」への投資を通じて行ないました。当期間末における各投資先ファンドの組入比率および当期間中における各投資先ファンドの騰落率は、以下の通りとなりました。

投資先ファンド	組入比率	騰落率
ブラジル株式マザーファンド	20.2%	20.7%
ロシア株式マザーファンド	23.5%	6.5%
Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	28.3%	13.4%
チャイナランド株式ファンド(適格機関投資家向け)	26.5%	32.2%

当期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・世界経済の同時成長およびコモディティ価格上昇の恩恵を受けて、「ロシア株式マザーファンド」の金融セクターや「ブラジル株式マザーファンド」のエネルギーセクターのパフォーマンスが良好であったこと。
- ・中華圏全般にわたり企業業績が市場予想を上回り、さらなる投資資金の流入を促したこと。
- ・格付会社ムーディーズがインドのソブリン債券の格付けを引き上げたこと。

<値下がり要因>

- ・「ブラジル株式マザーファンド」で情報技術関連や公益事業関連銘柄への投資が振るわなかったこと。
- ・インド政府が株式市場における長期キャピタルゲインの10%課税の導入を発表したこと。
- ・中国と米国の貿易戦争を匂わす不穏な動きが続いていたこと。

1万口当たりの費用明細

(2017年4月18日～2018年4月16日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	239 (103) (125) (12)	1.756 (0.754) (0.915) (0.086)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	3 (3)	0.024 (0.024)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.007 (0.007)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	14 (12) (1) (1) (0)	0.104 (0.089) (0.005) (0.009) (0.001)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	257	1.891	
期中の平均基準価額は、13,617円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2013年4月15日～2018年4月16日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2013年4月15日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年4月15日 決算日	2014年4月15日 決算日	2015年4月15日 決算日	2016年4月15日 決算日	2017年4月17日 決算日	2018年4月16日 決算日
基準価額 (円)	11,072	10,899	13,776	10,499	11,858	13,635
期間分配金合計(税込み) (円)	—	100	100	100	100	100
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.7	27.3	△ 23.1	13.9	15.8
純資産総額 (百万円)	27,919	18,622	17,544	10,720	10,145	9,831

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2017年4月18日～2018年4月16日)

(ブラジル株式市況)

過去数年にわたり新興国株式のパフォーマンスを下支えしてきたトレンドは、更に加速しました。アメリカドル安が加速したことに加え、米国で法人税減税が決定されたことを背景に、エコノミストは再び世界経済の成長見通しを上方修正しました。これらの2つのトレンドはリスク資産全般、特に新興国株式にとって絶好のシナリオとなり、新興国株式市場は大きく上昇し、ブラジル株式市場も大幅な上昇となりました。

(ロシア株式市況)

過去数年にわたり新興国株式のパフォーマンスを下支えしてきたトレンドは、更に加速しました。アメリカドル安が加速したことに加え、米国で法人税減税が決定されたことを背景に、エコノミストは再び世界経済の成長見通しを上方修正しました。これらの2つのトレンドはリスク資産全般、特に新興国株式にとって絶好のシナリオとなり、新興国株式市場は大きく上昇しました。なお、足元のロシア株式市場は、米国によるロシアに対しての制裁措置に関するネガティブな報道の影響を受けて、警戒感が高まりました。

(インド株式市況)

インド株式市場は、期間の初めから2018年1月にかけては好調に推移しましたが、その後は市場参加者のセンチメントが悪化したことで下落基調となりました。

世界的なリスク選好度の高まりや、貸出金利の引き下げを含む自国政策による下支え、州選挙でのインド人民党(BJP)の躍進、物品・サービス税(GST)および不動産規制(REA)の実施における進展に牽引され、2018年1月にかけては上昇基調で推移しました。国内の株式ファンドへの力強い資金の流入が株式市場を押し上げました。その後、世界市場が金融政策の正常化を警戒して低迷するなか、2月から期間末にかけては下落基調となりました。インド市場の下落は、インドルピー安が一因となりました。インド国内では、国営銀行の不正取引事件や、インドの現地証券取引所がMSCIなどに提供するデータを限定すると発表したことに対する懸念、また、新年度予算において長期株式投資への10%のキャピタルゲイン課税が導入されたことなど、特定のニュースに投資家は懸念を抱きました。

(中華圏株式市況)

2017年上半期は、好調な企業業績を受けて海外から中国に流入する投資資金が2015年以来の高水準となったことや、中国共産党第19回全国代表大会（第19回党大会）後、所得の向上や、質と量のバランスを重視した経済成長モデルへの転換を推進する政策に対する期待が高まったことや、好調な経済指標と中国人民元高などが主な牽引役となり、中国A株市場の株価が大幅に上昇しました。2018年2月以降、米国株式の急落や米国長期金利の急騰による打撃を受けて、特に大型銘柄は大きな売り圧力に晒されたことや、米中2大経済大国間の貿易戦争への懸念が高まったことなどから、株式市場は下落に転じました。

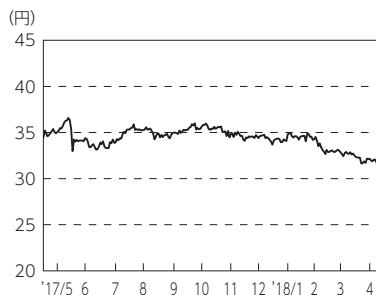
台湾市場では、オートメーション、高性能自動車部品、バイオテクノロジー関連の輸出や、半導体への旺盛な需要などから、鉱工業の生産と輸出の上振れが続いていました。ただし、2018年2月以降、減益決算が発表されたテクノロジー株や、台湾地震による影響を受けた小売株や観光・ホテル株などを中心に、市場全体が大幅に下落しました。株価は一旦回復しましたが、米中貿易摩擦の影響が及ぶとの懸念が重しとなり、再び下落に転じました。

香港市場では、期間の前半、中国本土の不動産開発業者による積極的な入札を受けて香港の不動産関連銘柄が上昇しました。中国当局が台湾や韓国への渡航を制限したことで中国本土から香港への観光客数が回復し、消費関連銘柄に対する楽観的な姿勢をもたらしました。ただし、期間の後半、対アメリカドルでの中国人民元高により海外から資金が流入したことから市場の流動性が改善され、株価は大幅に上昇しましたが、米中貿易摩擦の影響が及ぶとの懸念が高まり、株価は下落に転じました。

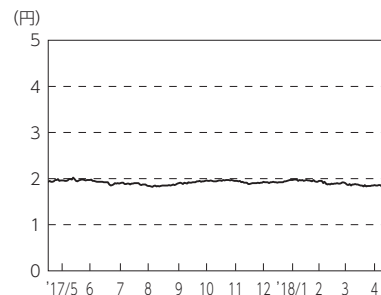
(為替市況)

期間中における投資先各国の通貨（対円）は、右記の推移となりました。

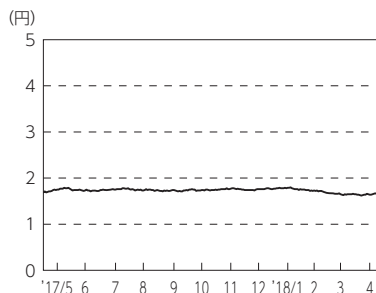
円／ブラジルレアルの推移



円／ロシアルーブルの推移



円／インドルピーの推移



円／中国人民元の推移



当ファンドのポートフォリオ

(2017年4月18日～2018年4月16日)

(当ファンド)

当ファンドは、「ブラジル株式マザーファンド」受益証券、「ロシア株式マザーファンド」受益証券、「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券、「チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券に投資を行ないました。

(ブラジル株式マザーファンド)

堅調な2017年10-12月期決算を背景に株価が上昇したレンタカー事業を手掛ける資本財・サービス関連銘柄、市場予想を上回る売上高成長率を発表した自動車部品メーカーの資本財・サービス関連銘柄などがプラス要因となりました。一方で、発表した利益や売上が失望感を誘った決済や本人確認サービスを提供する資本財・サービス関連銘柄、2017年10-12月期決算が市場予想を下回ったクレジットおよびデビットカード事業を手掛ける情報技術関連銘柄などは、マイナス要因となりました。

期間中の主な投資行動としては、市場が急落した2017年5月中旬を好機と捉え、複数の優良銘柄を追加購入しました。これらの銘柄の購入には、医療検査サービスを提供するヘルスケア関連銘柄を売却して得た資金を振り向けました。12月には、IPO（新規株式公開）を行なったファストフード事業を展開する一般消費財・サービス関連銘柄を新規購入しました。同銘柄は、業界2位である米国ハンバーガーチェーンのブラジルにおけるマスターフランチャイジーです。ブラジルのファストフード産業は構造的な成長が期待できる一方で同社のシェアは比較的小さいことから、成長機会は豊富にあり事業は持続的に拡大するとみています。

(ロシア株式マザーファンド)

大手産金企業や食品・小売企業の株価が下落したことがマイナス要因となった一方で、石油関連企業の株価の大幅な上昇がプラス要因となりました。また、大手銀行も、調達金利と貸付金利の差である純金利マージンや住宅ローン事業が好調であったことに加え、預金の増加や債務の減少などによって業績が良好であったことが株価の上昇につながり、ファンドのパフォーマンスにプラスに寄与しました。

主な投資行動としては、市場の変動性の高まりを好機とみて、株価が上昇した銘柄を売却して得た資金で、割安な水準にあると判断した銘柄へ投資し、ファンドの収益に繋げる運用を行ないました。足元では、大手総合エネルギー企業銘柄の株価の下落を好機と捉え、追加購入しました。一方、株価が上昇したことに伴ない、大手鉄鋼関連企業の投資比率を引き下げました。

(Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA)

一般消費財・サービスセクターや素材セクターのエクスポージャーを引き下げると同時に、情報技術セクターや不動産セクターのエクスポージャーを引き上げました。ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を重視したボトムアップの銘柄選択によって、業績の伸びが相対的に高く、勢いがあり、バリュエーション（株価評価）が妥当な水準にある銘柄に投資を行ないました。

(チャイナランド株式ファンド (適格機関投資家向け))

当ファンドは、「チャイナランド株式マザーファンド」受益証券および「中国A株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とし、運用を行ないました。期間末時点の純資産比率は以下の通りです。

投資先	純資産比率
チャイナランド株式マザーファンド	54.6%
中国A株マザーファンド	44.9%

※純資産比率は「チャイナランド株式ファンド (適格機関投資家向け)」の純資産総額に対する比率。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年4月18日～2018年4月16日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

(2017年4月18日～2018年4月16日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第13期
	2017年4月18日～ 2018年4月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	100 0.728%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,027

(注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として、「ブラジル株式マザーファンド」受益証券、「ロシア株式マザーファンド」受益証券、「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券、「チャイナランド株式ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券への投資を通じて分散投資を行ないます。

(ブラジル株式マザーファンド)

世界の株式市場は2017年に高いリターンを生み、新興国市場は2年連続で上昇しました。この力強いパフォーマンスは、世界経済の健全な成長やアメリカドルの弱含みを反映したものと考えられます。これらのトレンドは2018年にも続くと考え、新興国市場のパフォーマンスは力強く推移するとみています。ラテンアメリカでは、政治情勢が市場の変動性を高める主な要因となっていることから、2018年にブラジルを含む主要国において大統領選挙が予定されている状況下、市場が不安定な状態が続くと予想されるため、今後の動向を注視しています。値下がりし割安となっている銘柄の購入機会に引き続き注目しています。また、ブラジル経済が引き続き改善傾向にあり、企業の利益見通しが良好なかで、業績予想の確信度が高い銘柄の保有を継続する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(ロシア株式マザーファンド)

ロシアを含む新興国株式市場の上昇が期待できると見込んでいます。これまでと同様に、原油価格については、堅調に推移していくとみています。また、2018年中のインフレ率の低下と、政策金利のさらなる引き下げ、選挙後の税制の安定を見込んでおり、国営企業の民営化が実施される可能性は非常に低いと予測しています。なお、米国のロシアに対する経済制裁については、引き続き注視していく考えです。

ロシアの株式市場の割安さは引き続き魅力的な水準であると考えており、株式配当が増加傾向にあることが今後数四半期にかけて市場から評価されるとみています。

基本的な運用方針に大きな変更はなく、特にクオリティが高く安定したキャッシュフローが期待できる銘柄を重視した運用を継続する方針です。綿密な調査と分析に基づく銘柄選定を優先し、クオリティが高く、経済の構造的変化による恩恵を受けると期待される成長企業を引き続き選好することで、外部環境の変化や国内の不透明な状況に関わりなく、長期的なリターンを享受できると考えています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA)

引き続き、インドの経済成長を享受することをめざし、分散投資による運用を行なう方針です。ファンダメンタルズが強く、収益の成長性に優れた企業を、ボトムアップアプローチにより個別に選別することに注力していきます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(チャイナランド株式ファンド (適格機関投資家向け))

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「チャイナランド株式マザーファンド」受益証券および「中国A株マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。「チャイナランド株式マザーファンド」の運用においては、市場動向や各銘柄の成長性、収益性、流動性などを勘案して銘柄選定を行なう方針です。「中国A株マザーファンド」の運用においては、中国企業の人民元建株式を主要投資対象とする方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

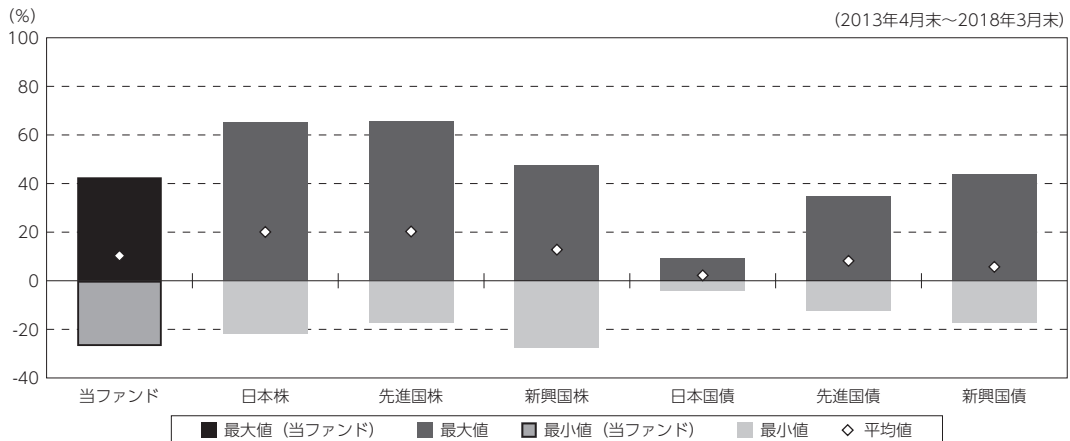
2017年4月18日から2018年4月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2006年3月1日から2021年4月15日までです。
運用方針	投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）を中心に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「ブラジル株式マザーファンド」受益証券 「ロシア株式マザーファンド」受益証券 「Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA」投資証券 「チャイナランド株式ファンド (適格機関投資家向け)」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	B R I C s 諸国（ブラジル、ロシア、インド、中国）の株式に投資を行なう投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資対象には、投資対象企業が自国通貨建で発行している株式のほか、他国通貨建で発行している株式、当該株式を裏付け資産としたDR（預託証券）も含まれます。また、原則として為替ヘッジは行ないません。
分配方針	第1計算期は、収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	42.6	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 26.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	10.3	20.1	20.3	12.8	2.2	8.2	5.7

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年4月から2018年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年4月16日現在)

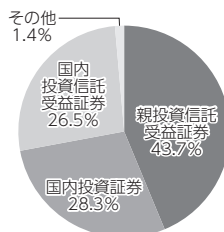
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第13期末
	%
Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラスA	28.3
チャイナランド株式ファンド (適格機関投資家向け)	26.5
ロシア株式マザーファンド	23.5
ブラジル株式マザーファンド	20.2
組入銘柄数	4銘柄

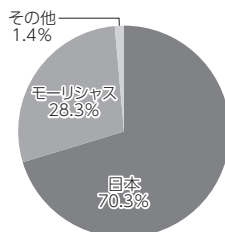
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

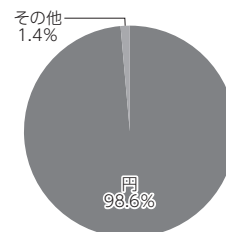
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資証券には外国籍(邦貨建)の投資証券を含めています。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項 目	第13期末
	2018年4月16日
純資産総額	9,831,214,481円
受益権総口数	7,210,054,283口
1万口当たり基準価額	13,635円

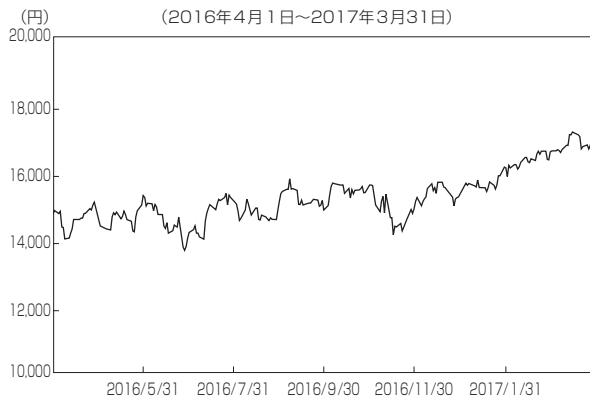
(注) 期中における追加設定元本額は68,114,337円、同解約元本額は1,413,647,176円です。

組入上位ファンドの概要

Nikko Asset Management (Mauritius) Ltd クラス A

【基準価額の推移】

(2016年4月1日～2017年3月31日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2016年4月1日～2017年3月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2017年3月31日現在)

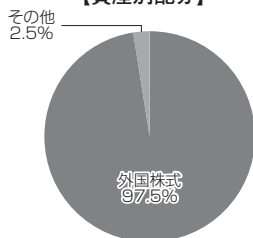
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	Infosys Technology	電子機器	インドルピー	インド	7.4
2	Housing Development Finance Corp	銀行	インドルピー	インド	6.3
3	HDFC Bank	銀行	インドルピー	インド	5.0
4	Tata Motors Ltd	インフラストラクチャー	インドルピー	インド	4.8
5	Reliance Industries Ltd	多角化企業	インドルピー	インド	4.1
6	Yes Bank Ltd	その他	インドルピー	インド	3.9
7	Indusind Bank Limited	銀行	インドルピー	インド	3.4
8	Maruti Suzuki India Ltd	その他	インドルピー	インド	3.1
9	Crompton Greaves Consumer Electricals Ltd	その他	インドルピー	インド	3.1
10	Vedanta Ltd	その他	インドルピー	インド	3.1
	組入銘柄数			42銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

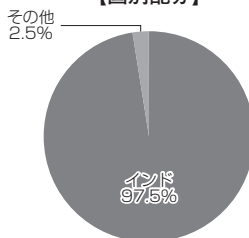
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

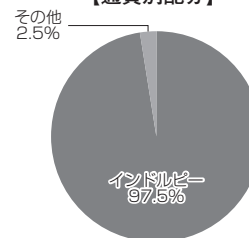
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



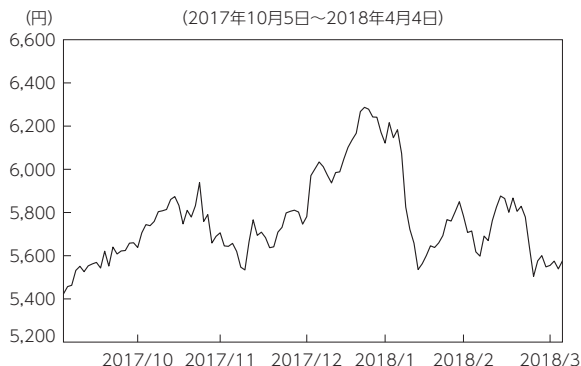
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

チャイナランド株式ファンド (適格機関投資家向け)

【基準価額の推移】

(2017年10月5日～2018年4月4日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2017年10月5日～2018年4月4日)

項目	第91期～第96期	
	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	6 (3) (-) (2)	0.108 (0.065) (-) (0.043)
(b) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	9 (9) (0)	0.161 (0.161) (0.000)
(c) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	4 (4) (0)	0.067 (0.067) (0.000)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	2 (2) (0) (0) (0)	0.033 (0.029) (0.002) (0.001) (0.001)
合計	21	0.369

作成期間の平均基準価額は、5,366円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

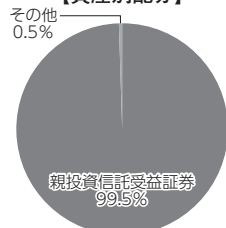
(2018年4月4日現在)

銘柄名	第96期末
チャイナランド株式マザーファンド	54.2%
中国A株マザーファンド	45.4%
組入銘柄数	2銘柄

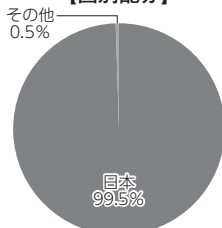
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

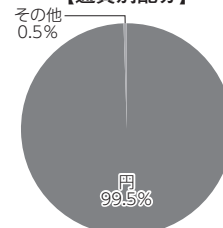
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



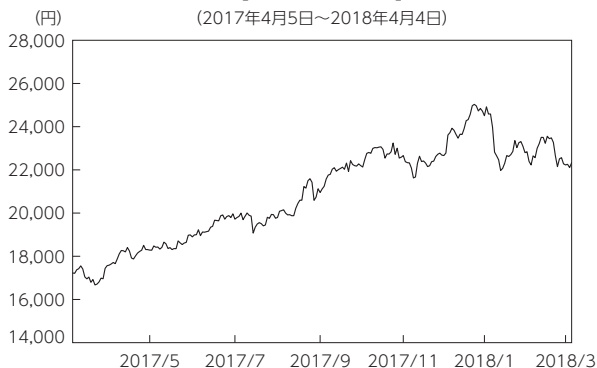
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜ご参考＞ チャイナランド株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年4月5日～2018年4月4日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	58 (58)	0.275 (0.275)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	32 (32)	0.152 (0.152)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	13 (11) (2)	0.060 (0.052) (0.009)
合 計	103	0.487

期中の平均基準価額は、21,084円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年4月4日現在)

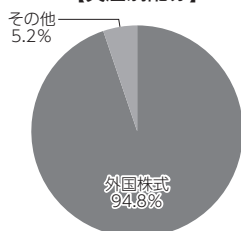
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 TENCENT HOLDINGS LTD	ソフトウェア・サービス	香港ドル	中国	5.1
2 PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	香港ドル	中国	4.6
3 GREENLAND HONG KONG HOLDINGS	不動産	香港ドル	ケイマン諸島	4.6
4 ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	ケイマン諸島	3.8
5 PETROCHINA CO LTD-H	エネルギー	香港ドル	中国	3.6
6 CHINA TAIPING INSURANCE HOLD	保険	香港ドル	香港	2.6
7 AGRICULTURAL BANK OF CHINA	銀行	香港ドル	中国	2.5
8 VISUAL PHOTONICS EPITAXY CO	半導体・半導体製造装置	新台幣ドル	台湾	2.4
9 CHINA MENGNIU DAIRY CO	食品・飲料・タバコ	香港ドル	香港	2.3
10 SHANGHAI JIN JIANG INTL HO-H	消費者サービス	香港ドル	中国	2.3
組入銘柄数	61銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

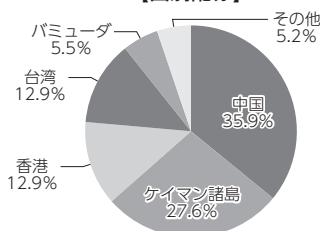
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

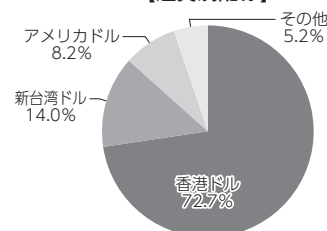
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

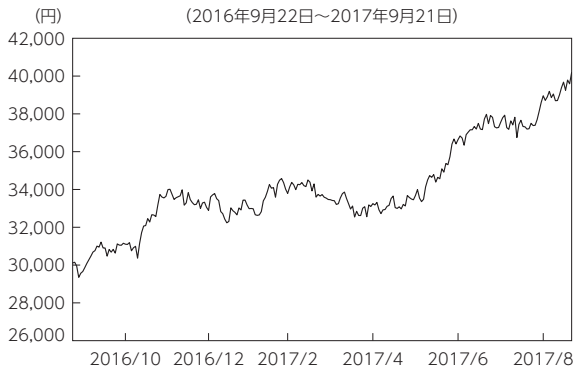
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<ご参考> 中国A株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2016年9月22日～2017年9月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2016年9月22日～2017年9月21日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	168 (168)	0.495 (0.495)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	58 (58)	0.171 (0.171)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	37 (35) (2)	0.108 (0.102) (0.006)
合 計	263	0.774

期中の平均基準価額は、33,956円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2017年9月21日現在)

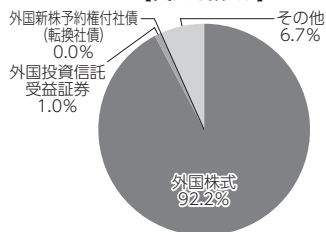
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比 率
					%
1	PING AN INSURANCE GROUP CO-A	保険	中国人民幣	中国	4.0
2	PING AN BANK CO LTD-A	銀行	中国人民幣	中国	2.2
3	CHINA MERCHANTS BANK-A	銀行	中国人民幣	中国	2.2
4	INDUSTRIAL BANK CO LTD-A	銀行	中国人民幣	中国	2.0
5	GREE ELECTRIC APPLIANCES I-A	耐久消費財・アパレル	中国人民幣	中国	1.8
6	CHINA CONSTRUCTION BANK-A	銀行	中国人民幣	中国	1.7
7	MIDEA GROUP CO LTD-A	耐久消費財・アパレル	中国人民幣	中国	1.7
8	INNER MONGOLIA YILI INDUS-A	食品・飲料・タバコ	中国人民幣	中国	1.7
9	KWEI CHOW MOUTAI CO LTD-A	食品・飲料・タバコ	中国人民幣	中国	1.7
10	AGRICULTURAL BANK OF CHINA-A	銀行	中国人民幣	中国	1.7
	組入銘柄数		102銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

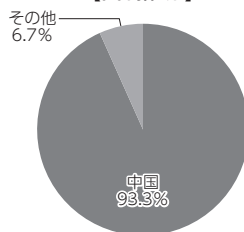
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

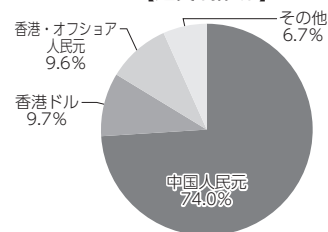
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

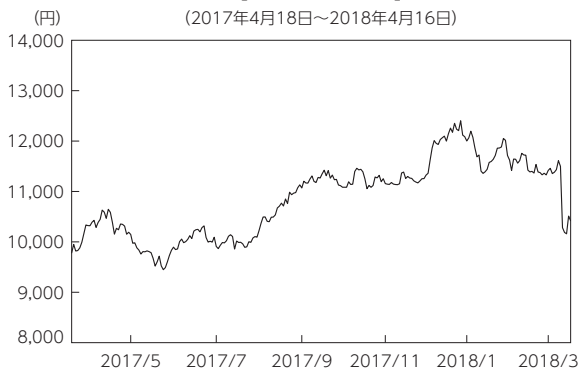
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

ロシア株式マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2017年4月18日～2018年4月16日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	5 (5)	0.046 (0.046)
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.013 (0.013)
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	19 (19)	0.178 (0.178)
合 計	25	0.237

期中の平均基準価額は、10,891円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年4月16日現在)

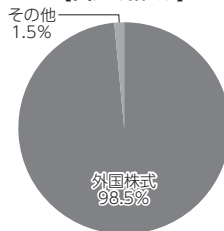
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 GAZPROM PAO-SPON ADR	エネルギー	アメリカドル	ロシア	10.6%	
2 LUKOIL PJSC-SPON-ADR	エネルギー	アメリカドル	ロシア	7.3%	
3 SBERBANK	銀行	アメリカドル	ロシア	7.2%	
4 NOVATEK PJSC-SPONS GDR REG S	エネルギー	アメリカドル	ロシア	6.8%	
5 ROSNEFT PJSC-REG S GDR	エネルギー	アメリカドル	ロシア	6.5%	
6 TATNEFT 3 SERIES-PRF	エネルギー	アメリカドル	ロシア	5.7%	
7 MOSCOW EXCHANGE MICEX-RTS	各種金融	アメリカドル	ロシア	5.5%	
8 SEVERSTAL - GDR REG S	素材	アメリカドル	ロシア	5.2%	
9 ALROSA PAO	素材	アメリカドル	ロシア	4.7%	
10 INTER RAO UES PJSC	公益事業	アメリカドル	ロシア	3.6%	
組入銘柄数		32銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

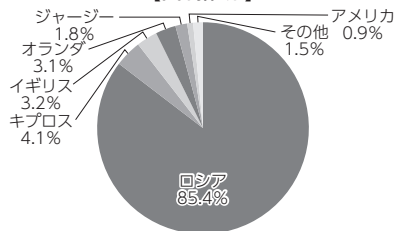
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

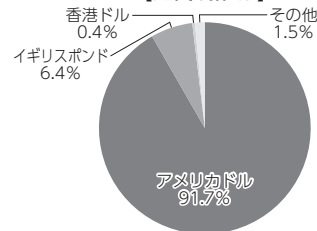
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。